

## 新型コロナウイルス感染症予防、並びに「新しい生活様式」 における障害のある方への配慮について

令和 3年 3月31日  
仙台市若林障害者福祉センター

去る令和3年3月31日（水）セレモール霞目の職員4名の方を対象に、「新型コロナウイルス感染症予防」、並びに「新しい生活様式における障害のある方への配慮」について講習会を開催しました。

新型コロナウイルス感染症予防は、当センターの齋藤看護師が講師となり、新型コロナウイルスの感染経路、感染対策、消毒液の種類、マスクの脱着方法、罹患時の症状等について説明しました。参加者からは、「次亜塩素酸水はコロナに効くか」、「手指消毒時のアルコールは、ワンプッシュで、と張り紙がある店があるが、量と効果について」等のご質問をいただきました。

続いて、新しい生活様式における障害のある方への配慮は、引田所長より、仙台市のリーフレット「新しい生活様式における障害のある方の困りごと」、ヘルプマークを用いて説明しました。参加者からは、「リーフレットの視覚障害向け音声コードの意味」、「ヘルプマークはどこに身につけているか」等のご質問をいただきました。

最後に、当センターの喫茶せんしょう庵のメニューについて紹介しました。参加者から、お団子を購入したことがある、とのお声をいただきました。

今後も企業の職員さん向けに当センターの専門性の還元、並びに障害理解啓発に務めていきたいと思っております。

